

K E N K Y U S H A

LUMINOUS

ENGLISH-JAPANESE
DICTIONARY

K E N K Y U S H A

LUMINOUS

ENGLISH-JAPANESE
D I C T I O N A R Y

ルミナス英和辞典

編者

竹林 滋・小島 義郎・東 信行

研究社

K E N K Y U S H A

LUMINOUS ENGLISH-JAPANESE DICTIONARY

初版 第1刷発行 2001年1月
第6刷発行 2002年6月



ルミナス英和辞典

たけばやし しげる こじま よしろう ひがし のぶゆき
編 者 竹林 滋・小島義郎・東 信行

発 行 者 荒木邦起

発 行 所 株式会社 研究社

〒102-8152 東京都千代田区富士見 2-11-3

電話 編集 03(3288)7711

営業 03(3288)7777

振替 00190-3-32260

<http://www.kenkyusha.co.jp/>

組 版 研究社印刷株式会社

写真製版 株式会社近藤写真製版所

印 刷 研究社印刷株式会社

製 本 株式会社 ケイ・ビー・ビー (研究社製本)

ISBN4-7674-1528-4 C7582

PRINTED IN JAPAN

まえがき

1995年に刊行された『カレッジライトハウス英和辞典』は幸いにして好評を博したので、いっそうの充実を目指し、発売開始直後から改訂作業が始められた。その際各方面からの建設的なご助言やご提案などを参考にさせていただき、下記のような新しい特色を織り込み、さらに話しかつ聞く英語を重視すること、また語彙を大幅に増加するという改訂方針が選択された。しかしこれらの目標を達成するためには単なる改訂版の枠内での処理では到底無理であることが判明したので、紙面を一新し、名称も『ルミナス英和辞典』と改めて世に送る決定をした次第である。しかしながら前身の『ユニオン英和辞典』および『ライトハウス英和辞典』の根本的な理念である、基本語の重視、丁寧な解説、語義や用例などの注記、語法の説明、日英両語における意味・用法上の相違の指摘などの重要な部門は改善されてそのまま受け継がれている。

『ルミナス英和辞典』の新しい特色を紹介すると次の通りである。

(1) 収録語の大幅な増加

最近の世界情勢や政治・社会・文明などにおける著しい変化などを考慮に入れ、また英米の最近の辞典・電子コーパス・ウェブサイトなども参照して1万語以上の斬新かつ実用性の高い語を追加した。これによって『ルミナス英和辞典』の収録語数は約9万9千語と大幅に増加し、学生のみならず一般の社会人の使用にも充分対応できるようになった。またインターネットも積極的に活用し、用例の追加や差し替えに反映させた。

(2) 単語・語義の使用頻度の全面的な見直し

ここ2~30年間の英米などにおける社会情勢の変遷はまことに目まぐるしいものがある。従来の版の見出し語の頻度のデータは1960年代における約百万語を対象とした調査に基づくものであった。しかしながら最近のコーパス言語学(corpus linguistics)の発達は驚異的で、1990年代における2億語に上るデータを基礎とした精密な語の頻度が判明している。なおこれには重要な句動詞の頻度も含まれていることに注目されたい。またかなりの語においては語義の頻度についても大きな変動が見られる。『ルミナス英和辞典』ではこの最新のデータに基づいて、従来の頻度表示を一新した。英語教育者および学習者は本辞典の頻度表示をぜひ活用していただきたい。

(3) 話しことば(㊟)と書きことば(㊞)の新表示

本辞典では語句の頻度に注意するだけでなく、主に会話で用いる語義・表現に㊟、主に文章で用いる語義・表現に㊞の表示をつけて、語句と表現手段との関係に配慮した。この結果、会話に特有の言い回しも一段と増えている。

(4) 自動詞と他動詞の転換の表示

同じ動詞が自動詞にも他動詞にも使われることが多いのが英語の特徴である。たとえばopenは日本語の「開く」という自動詞にも、「開ける」という他動詞にも対応する。このような動詞は能格動詞(ergative verb)と呼ばれ最近の英文法において重視されているが、本辞典ではそのうち特に重要な動詞に対しては囲みを設けて読者の注意を喚起した。これは極めて実用性が高い上に

英語の言語感を養う上でも意義のあるものである。

(5) リスニング欄の新設

最近話す英語の重要性の認識が深まり、入試などにおいてもリスニングの導入が話題となっているが、本辞典では従来の常識を破って我が国の英和辞典では初めて、日本人がリスニングの際に苦手とする点を 40 語以上について囲みとして説明した。我が国の英語教育界では発音記号の正しい発音の仕方が徹底されておらず、しかも発音教育自体が単語中心主義で、単語の連続である節や文のリスニングでつまづくことが多い。そのため本辞典では節や文の連続した発音の説明には敢えてカナの使用に踏み切った。節や文の聴き取りでは、カナの使用が予想以上に効果的なことが囲みの解説によって理解していただけたと思う。これは英和辞典においては画期的な試みで、将来センター入試、さらには TOEIC® のテストなどを目指す学習者には極めて大きな効果を発揮しよう。なおリスニング能力の向上を目指す読者は巻末の発音解説を熟読されたい。

(6) 類音の表示

従来の [同音] に加えて新たに [類音] も示し、特に日本人が聞き間違えやすい似た音の語を発音表記の後に載せた。これもリスニングの能力を高める助けとなるものと信ずる。

(7) 文型・書き換え・語法欄の強化

この点については以前の版から重視されてきたが、今回はいっそうの充実をはかった。特に『ユニオン英和』および『ライトハウス英和』の特色であった動詞型のほか、形容詞型、名詞型の継承には万全を期した。

(8) 会話欄およびコロケーション欄の充実

この欄は生きた英語の表現力を増すため、前身の『カレッジライトハウス英和辞典』において採用されたのであるが、これについてもインターネットなどを活用して更に検討を加え、いっそう実用的となるよう努めた。

本辞典の編集作業に当たっては別掲の編集委員、校閲者、執筆者、調査・校正協力者の方々のご協力を頂いた。特に IT 関連用語については東京商船大学の稲石正明教授に大変お世話になった。深く感謝の意を表する次第である。また研究社辞書編集部では初期の段階で進行面で小沼利英氏、直接の担当者として改田宏氏、三谷裕氏、國井典子氏にも非常にお世話になった。また研究社印刷の小酒井英一郎氏をはじめ製版や製作関係の方々にも心からお礼を申し上げます。

本辞典の作成においては限られた時間内で最善を尽くしたつもりであるが、今後とも実用性の高い学習辞典に向かって改善をはかっていく所存である。使用者各位のご支援とご教示を頂ければ幸いである。

2000 年 12 月

編 者

解説図



1.4 英米で異なる見出し語

***col·or**, (英) **col·our** /kɒlə | -lə/ (類音 collar) 名
(~s /-z/; 形 colorful) 1 U C 色, 色彩... [書き換え]

12 派生語

What ~ is your car? = What is the ~ of your car? あなたの車の色は何ですか。

9.7 書き換え

show one's (true) colours = show oneself in one's true colours [動] ④ [しばしば軽蔑] 本性を現わす。

6.4 感情表示

4 語形変化

***clean** /kli:n/ 形 (clean·er; clean·est; 反
unclean) 1 [ときに D] (物・体などが)清潔な...

7 反意語

clean (清潔で汚れない)	きれいな
clear (澄みきった)	

5.3 日英語義比較

5.8 形容詞の限定用法
と述語用法

2 A 汚(ま)れていない, 何も書いてない; 訂正のない...

13 P [俗] 武器[凶器, 麻薬]を隠し持っていない; シロで。

6.2 文体表示

11 句動詞

clean の句動詞

clean down 動 ④ [主に英] <壁・車など>を上から下まできれいに掃除する。

6.1 地域表示

***clean out** 動 ④ 1 D <...の中>(すっかり)きれいに
する; 一掃する <V+名・代+out / V+out+名>:
C~ out the shed and throw away the things you

11.4 句動詞の動詞型

8.1 用例中に見出し語

5.6 文法・語法の指示

— 名 [a ~] [主に英] きれいにすること, 掃除...

clean·ing /kli:nɪŋ/ 名 U 掃除, きれいにすること:
do the ~ 掃除をする。[関連] housecleaning 大掃
除。

5.9 数えられる名詞と
数えられない名詞

15.3 関連語

Bush·man /búʃmən/ 名 (-men /-mən/) C 1
ブッシュマン族(の人) [アフリカ南部の狩猟民族]。 2
[b-] (オーストラリアの)森林地帯の住人。

5.6 文法・語法の指示

***get ... out of** — 動 ④ 1 D 一から<...>を出す, 取
り出す, 抜き取る: He got his wallet out of his
pocket. 彼はポケットから財布を取り出した... 2 (人)か
ら<真相など>を聞き出す; 一から<利益・楽しみなど>を得る...

5.11 他動詞の目的語
5.11 句動詞などの目
的語

***bus** /bʌs/ ... C 1 バス [《car 表, 類義語》]...
bus のいろいろ

15.2 ...のいろいろ

microbùs, mínibùs 小型バス, schòol bús スクールバス,
shúttle bús 近距離往復バス, sightseeing bús 観光バス,
tróllýbús トロリーバス

8.3 コロケーション

コロケーション
board a bus バスに乗り込む
catch [get] a bus バスに(遅れずに)乗る
get off a bus バスから降りる
get on a bus バスに乗り込む
take a bus バスで行く [《car 語法 (1)》]

6.3 専門語表示

2 [電算] = data bus.

13.2 単語の記憶

単語の記憶 《GRAPH》(書く)

graph (書いたもの) → グラフ
paragraph (わきにかいた印) → 段落
photograph (光で書くもの) → 写真
telegraph (遠くから書くもの) → 電報

この辞書の使い方

1 見出し語

1.1 収録語数 約 99,000 語とした。このうち最重要基本語約 2,000 語に * 印をつけ、色をつけて目立たせた。さらにそれに続く基本語約 5,000 語に * 印、次の 8,000 語に + 印をつけた。

1.2 収録範囲 英語の普通の語句・派生語・合成語のほかに、固有名詞・接頭辞・接尾辞・短縮形・略語を収録した。

1.3 配列 配列は ABC 順とした。ハイフン (・) を用いて見出し語のつづりの一部を、スワングダッシュ (～) を用いて見出し語と同じつづりの部分を省略して示した場合がある。

*help·ful ... 形 ... -ful·ly ... 副 ... ～ness 名 ④

1.4 つづり字 米国と英国とでつづりの異なるときは米国式つづりを優先させ、《英》として英国式つづりを併記した。

‡la·bor·er, 《英》la·bour·er

一方の語を改めて見出し語としたときには次のように示した。

la·bour·er /léib(ə)rə | ·rə/ ④ 《英》=laborer.

1.5 2 種以上のつづり方があるときにはよく使われるつづりを先に併記した。またつづりが共通する部分はハイフン (・) で省略した場合がある。[], () はそれぞれ言いかえ、省略可能な部分を示す。

chi·me·ra, chi·mae·ra / *gas·o·line, ·o·lene /
fócal lèngth [dìstance] / dór·mer (window)

1.6 つづりが同じでも語源の異なるもの、品詞によって発音が異なるものは別に見出し語として立て、肩番号をつけた。

*bow¹ /báu/ ★ bow³ との発音の違いに注意。動 (bows /~z/; bowed /~d/; bow·ing) ④ ⑤
おじきをする...

*bow² /báu/ ★ bow³ との発音の違いに注意。④ ... ④ 船首...

+bow³ /bóu/ ★ bow^{1,2} との発音の違いに注意。④ ④ 1 弓...

1.7 つづり字の切れ目 つづり字の切れ目は中点 (·) で示した。

*mon·u·ment

1.8 合成語・一部の派生語は原則として各構成要素(接辞も含む)の間の切れ目のみ示した。

éasy·góing / +fámous·ly

2 発音 (㊦ つづり字と発音解説 (巻末)), ④ 同音 ④ 類音, 「リスニング」欄, 外来語

2.1 発音は最新の資料により国際音声字母を用いて見出し語の直後に / / の中に入れて示した。米音と英音とが異なるときは /米音 | 英音/ のように示した (㊦ つづり字と発音解説 1)。2 種以上の発音のしかたがある場合は、共通する部分はハイフン (・) で示した。1 音節語でもアクセントを示した (㊦ つづり字と発音解説 18)。発音記号 /ə:, ɪə, eə, æə, ɔə, uə, ə/ については ㊦ つづり字と発音解説 11.1-6, 12.4。

‡half /há:f | há:f/ / ‡al·ways /s:lweiz, ·wəz, ·wiz/

2.2 母音字の上に /´/ をつけて第一アクセントを示し、/`/ をつけて第二アクセントを示した (㊦ つづり字と発音解説 18)。

‡cír·cum·stance /s:s:kəmstəns, ·stəns | s:s:/

2.3 文中で比較的弱く発音する語は次のように示した (㊦ つづり字と発音解説 20, 21)。

‡at /(弱) at; (強) æt/

2.4 基本語の変化形には原則としてすべて発音を示したが、動詞の現在分詞 (ただし ㊦ 4.11) および形容詞・副詞の規則変化は発音表記上特に問題がない限り省略した。

2.5 不規則な変化形には発音を示した (㊦ 4.3, 4.7, 4.10)。

4.1 名詞・代名詞・形容詞・副詞・動詞・助動詞の語形変化を示した。不規則な変化をするものは、略号(複・比・最・三単現・過去・過分・現分)とともに()内に示したが、規則的な変化をするものは略号を省いた。基本語は規則的な変化をするものについてすべて示した。一般語については不規則な変化をするもののみ示した。見出し語と同じつづりの部分はスワングダッシュ(〜)で示した。

2種以上の変化形はよく使われるほうを先に併記したが、使われ方に差がないものは()でまとめて示した場合がある。下の例では cargos と cargoes が両方とも同じように用いられることを示す。

***car-go** /káəgou | ká:-/ ㄅㄛ (〜**e**s /-z/)

4.2 名詞 基本語は複数形が用いられるものはすべて示した。

†**inch** /ɪntʃ/ ㄣ (〜**e**s /-ɪz/)

4.3 不規則変化をする複数形はすべて略号とともに示した。

†**foot** /fút/ ㄝ (複 **feet** /fi:t/, 2 ではときに《略式》で〜)

***sheep** /ʃi:p/ ㄝ (複 〜)

4.4 2語以上の見出しまたはハイフン(-)のついた合成語でも複数形になると第1要素が変わるときには次のように示した。

prince consort ㄅ (複 **princ-es con-sort, prince consorts**)

looker-on ㄅ (複 **look-ers-**)

4.5 つづり字が -o, -f, 子音字+y で終わる語はすべて複数形を示した。

4.6 形容詞・副詞 -er, -est をつけて比較級・最上級をつくるものはすべて示したが略号は省いた。

***keen**¹ /ki:n/ ㄝ (**keen-er; keen-est**)

4.7 不規則な比較変化は略号とともに省略せずに示した。

†**good** /gúd/ ㄝ (比 **bet-ter** /bé:tə | -tə/; 最 **best** /bést/)

4.8 単音節で more, most をつけて変化するものは示した。

†**like**¹ ... ㄝ (**more** 〜; **most** 〜)

4.9 動詞 基本語は三単現・過去・過分・現分の順にすべて示したが規則変化については略号を省いた。

4.10 不規則動詞は略号とともにすべて示した(《ㄅ「不規則動詞活用表」(巻末)》)。

†**go**¹ ... ㄅ (**goes** /-z/; 過去 **went** /wént/; 過分 **gone** /gó:n, gún | gón/; **go-ing**)

4.11 規則変化でも子音字を重ねるもの、子音字+y または o で終わる語、-c で終わる語は基本語・一般語を問わず、すべて示した。

***pic-nic** /píknik/ ... — ㄅ (**pic-nics** /-s/; **pic-nicked** /-t/; **pic-nick-ing**)

また原形が米音で /ə:/ または /ə/ で終わる動詞には現在分詞の発音も示した。

***blare** /bléə | bléə/ ㄅ (**blar-ing** /blé(ə)rɪŋ/)

***ca-per**¹ /kéipə | -pə/ ㄅ (**-per-ing** /-p(ə)rɪŋ/)

5 ㄱ ㄷ の転換, 語義の展開と要約, 日英語義比較, 語義, 語法・文法上の指示, ㄱ ㄷ, ㄱ ㄷ, ㄱ ㄷ

5.1 重要な動詞のうち、意味内容を共有する自動詞用法と他動詞用法を併せ持つ、いわゆる能格動詞(《ㄅ巻末文法 能格動詞》)の基本語義に「ㄱ ㄷ の転換」として英語による語義を示す欄を設け、自動詞用法と他動詞用法の関係や語の基本的な意味を直接把握し、英語の語感・発想を理解する一助とした。

†**fill** /fi/ (同音 **Phil**; 類音 **hill, fell**) ㄅ (**fills** /-z/; **filled** /-d/; **fill-ing**)

自 ㄷ の転換

ㄱ 1 満たす (to make (something) full)

ㄷ 1 いっぱいになる (to become full)

— ㄱ 1 ㄱ ㄷ ㄱ 入れ物などを満たす...

5.2 重要語の語義の前に語義の展開と要約を示す囲みを設けた。語義の展開は意味の発達と分化を図式的に示したもので、要約は語義を簡潔にまとめたもの(《ㄅ 13.1》)。

5.3 重要な語で、日本語と英語の対応が誤解を招きやすく、注意を必要とするものについては、表の形で語義を示した。

draw (鉛筆・ペン・クレヨンなどで)	(絵を)描く
paint (絵の具で)	

5.4 語義の区分は **1**, **2**, ..., さらに細かく分けるときはセミコロン (;), コンマ (,) を用い, また大きな区分には **A**, **B** を用いた. また成句の語義区分は (1), (2)... を用いた.

5.5 罫印の語 (2,000 語) については, 重要な語義が目立つように色をつけた.

5.6 語法上および文法上の指示・注意は訳語の前に [] で示した. スワングダッシュ (~) は見出し語と同じつづりの部分を表わし, ハイフン (-) は見出し語が一部変わるときの変わらない部分を表わす.

***blare** ... — ㊦ [a ~, the ~] やかましい音.

***bor-ough** ... **1** [ときに B-] 《米》(ニューヨーク市 (New York City) の) 自治区...

5.7 一部の言いかえは [] を用いて示し, 省略には () を使用した (㊦ 18.2).

blow-out ㊦ **1** バンク, パースト; (ヒューズが) 飛ぶこと. **2** (制御不能な) 石油[ガス]の噴出.

5.8 **A** **P** 形容詞の [限定的に] を **A**, [述語的に] を **P** で示した (㊦ 巻末文法 限定用法, 述語用法).

5.9 **C** **U** 数えられる名詞を **C**, 数えられない名詞を **U** で, さらに両方に用いられる名詞は **CU** または **UC** で示した (㊦ 巻末文法 可算名詞, 不可算名詞).

5.10 動詞の重要な語義において動作動詞を **D**, 状態動詞を **S** で, さらに両方に用いられる場合は **DS** または **SD** で示した (㊦ 巻末文法 動作動詞, 状態動詞). 形容詞と名詞は性質・状態・存在物などを示すのが普通だが, **be** 動詞と共に述語的に用いられると動作動詞と同じく動作性を帯びるものが一部ある. その場合を [ときに **D**] と表示した.

5.11 動詞が他動詞の場合, 目的語をとる必要があることを訳語においても明示するためにしばしば次の形式を用いた.

(1) 直接目的語では「<...>を」「<...>に」のように目的語(相当部分)を < > の中に入れ, 助詞(相当部分)を < > の外に添えた小さい活字で示した.

(2) 直接目的語のほかに関接目的語がある場合は, 「<...に>」のように間接目的語の助詞(相当部分)を < > でくくって示した.

***bake** ... ㊦ **1** **D** <パン・菓子など>を焼く; <人に>パン・菓子>を焼いてやる... **B~ a cake for me.**
<V+O+for+名・代>=B~ me a cake. <V+O+O> 私にケーキを焼いてください.

動詞で始まる成句・句動詞においても, その動詞の目的語について上記の表示法を適用した. その際前置詞の目的語を「(人)に」のように示した場合がある.

bring ... through — ㊦ **1** (場所)を通して<...>を運び入れる[出す], 一から<...>を連れて入る[出る]: Don't ~ that dirty dog through the kitchen. その汚い犬を台所から入れないで. **2** <...>に(困難など)を切り抜ける. <病人など>を一から救う.

give ... a black eye [動] ㊦ <...の>目の周りに青あざができるほど殴る.

5.12 [次の成句で] として訳語を示さない場合がある.

fro /fróu/ ㊦ [次の成句で] **tó and fró** [副] あちらこちらへ, ...

5.13 動詞型など (㊦ 9) に準ずるものとして, 見出し語と共によく用いられる前置詞・副詞を斜体で語義の後に示した. 下の例では enactment of ... (...の制定・上演) という形でよく用いられることを意味している.

***en-act-ment** ... **UC** [法] (法律の) 制定; [格式] (劇の) 上演 (of)...

6 文体・用法上の指示

語・成句(の意味)が地域, 時代, 文体, 専門分野などに関して限定されることがある. 主な用法上の指示は《 》, [], [] で示す. 「普通は」「しばしば」「ときに」「主に」などを指示レーベルに付加して指示の適用が部分的であることを示すことがある. 指示のないものは普通に用いられる一般の語句である.

6.1 地域によって用法・意味などが異なるときは, 《米》, 《英》, 《主に米》, 《主に英》, 《方言》などのように, その用法上の指示を《 》で示した (㊦ 専門語表示一覧, 2.10). 同義語・反意語など (㊦ 7.1) では「主に」などを省き簡略化したり省略してある.

***crib** /krɪb/ ㊦ 1 ㊦ (主に米) ベビーベッド (英) cot).

6.2 どういう場面・文脈で使うかという文体上の差異は次のように示した。

- 《略式》 ……くだけた感じの語・句で、特に友人・家族のような親しい人同士の会話や手紙に使う。
- 《格式》 ……格式ばった語・句で、公式の改まった場面でのスピーチや公文書・商業文などに用いる。
- 《丁寧》 ……相手に対する敬意を表わした丁寧な語・句。
- 《俗》 ……《略式》よりもさらにくだけた品位に欠ける語・句で、普通限られた仲間うちで用いたり、特殊な効果を狙って使う。
- 《卑》 ……卑猥(ひん)な、または差別的な品のない語・句で、人前で使ってはいけなくされる。
- 《古風》 ……今ではあまり使われない古風な感じの語・句で、年配の人の言葉に見られることがある。
- 《古語》 ……昔使われたが今は用いられない語・句で古い文献などに見られる。
- 《文》 ……硬い文学作品や改まった文書に用いられそうな語・句。
- 《詩》 ……主に詩や美文調の書き言葉の中で用いられる語。
- 《小児》 ……主に幼児や子供が使う語・句。

このほかに標準語とみなされない語句は (非標準)、使用頻度がかかなり限られるものは《まれ》と表示した。また主に会話で用いる語義・表現に ㊦、主に文章で用いる語義・表現に ㊦ の表示をつけた。

6.3 分野別の専門語は『 』, 説明は《 》で示した(㊦ 専門語表示一覧)。なお商品などの商標名は説明中に「商標」と記した。

***tee** /ti:/ ㊦ ㊦ 1 ㊦ 《ゴルフ》ティー、球座《打つときにボールをのせる台; ㊦ golf 挿絵》...

Benz /bénts/ ㊦ ㊦ ベンツ《ドイツの高級乗用車; 正式には Mercedes-Benz; 商標》。

6.4 どのような態度や感情的含みでその語句を用いるかを示す必要があるときは、次のように [] で示した。

- [ほめて] ……対象となる人・物に対して好感を持ってよい意味で用いる。
- [けなして] ……対象となる人・物に対して批判的で悪い意味で用いる。
- [軽蔑] ……対象となる人・物に対して軽蔑の気持ちをこめて用いる。
- [差別] ……特定の人種や女性などに関連して対象となる人・物に対して侮辱的で人の気を悪くさせる言い方。
- [皮肉] ……対象となる人・物に対して皮肉をこめて用いる。
- [滑稽] ……対象となる人・物に対して冗談半分に滑稽な意味合いで用いる。
- [誇張] ……もったいぶった表現で聞き手におおげさに響く。
- [婉曲] ……聞き手に不快感を与える内容をやわらげるために用いる間接的な言い方。
- [比喩] ……語義が文字通りではなく比喩的・抽象的な意味あい用いられる場合。

7 類義語・反意語

7.1 その語と同じような意味の語は訳語の後に () で示したが、微妙な違いがある語はまとめて【類義語】として示した。反意語は (㊦) で示した。派生語とまとめた場合もある(㊦ 12)。

8 用例・コロケーション・語法・参考・日英比較

8.1 語義の後をコロン (:) で区切り、その後用例を示した。用例中の見出し語は原則として～で示し、変化形などつづり字の変わるものや紛らわしい場合は斜体字で示した。つづり字に影響の無い規則変化語尾は *～ed*, *～s*, *～er* のように示した。また語頭の大文字と小文字が入れ替わる場合は *A～* のように示した。下の例で *cherry tree* の用例中の *～s* は *cherry trees* の意、*congratulation* の用例中の *C～s* は *Congratulations* の意で

ある。

※**car·ry** /kəri/ 動 (car·ries /-z/; car·ried /-d/; -ry·ing /-ring/) 他 1 ① (身につけて)〈…〉を持ち運ぶ。持ち歩く; 携帯する: She is ~ing a purse. 彼女はハンドバッグを持っている / ... He car·ries all these figures in his head [mind]. 彼はこれらの数字をすべて頭の中に入れている...

cherry trée ② 桜の木: The ~s are in full bloom. 桜が満開だ。

***con·grat·u·la·tion** ... 祝い, 祝賀: a speech of ~ 祝辞. ... **Congratulations on** ... おめでとう: C~s on your graduation. 卒業おめでとう...

8.2 成句・句動詞に相当する部分や、注意すべき部分も斜体で示した。特に重要な語や語義の場合、注目すべき部分や文型などを太字の斜体にして注意を喚起した。

(**just**) **in case** ③ ⑤ 万一に備えて、まさかのときのために: I'll take an umbrella (*just*) in ~. 万一の用心に傘を持っていこう。

***fe·ver** /fi:və | -və/ ④ 1 ① [U] または a ~] (病気の)熱, ... / Tom is in bed with a ~. トムは熱を出して寝ています...

***con·vic·tion** ... 1 ② [C] 確信, 信念; 自覚: We have a strong ~ *that* our constitution needs no change. <N+that 節> 憲法は変える必要がないと我々は確信している...

8.3 名詞については、それとよく結びつく動詞との連続に注目し、これをコロケーション(連語)として取り上げ、主要なものを見やすいように囲みで示した。用例と共に表現力を伸ばす一助とされたい。

— コロケーション —
get [receive] a call 電話をもらう[受ける]
give ... a call <...に>電話をかける[する]
make [place] a call (to ...) (...に)電話する
take a call 電話に出る

8.4 語義・用例などの注意すべきことがらは「語法」などで説明した。なお説明の長いものについては囲みにして目立つようにした。中でも重要なものに関しては、高名な言語学者 Dwight Bolinger (米国), 辞書学者 Robert F. Ilson (英国), 英語学者 John Algeo (米国) の3氏に校閲を求いたいただき、それぞれ (B.) (I.) (A.) と示した。

***bor·row** ... ① <...>を借りる... ② [英比較] 備えつけて移動できないものを使わせてもらうときにも日本語で「借りる」と言うが、英語では 'use' を用いる (B. I.)...

8.5 「参考」としてその語に関連する説明を加えた。

8.6 日本語と英語との意味や用法の違い、あるいは社会的・文化的な相違を「英比較」で説明した。

9 動詞型 (動詞型解説 (巻末)), 形容詞型 (形容詞型解説 (巻末)), 名詞型 (名詞型解説 (巻末)), 書き換え

9.1 五文型によって基本語の動詞の例文に動詞型を示した。ただし <V>, <V+O>, <V+副> の型は除いた (動詞型解説 II 1 および II 3)。目的語が名詞または代名詞のときは単に O とした。同じ動詞型の例文が続くときは初めの例文に動詞型を示し、後の例文の動詞型は省いた。また, die hard, cross oneself などのように慣用句になっているものは原則として成句とし、動詞型は示さなかった (10)。

9.2 特定の前置詞をとるものは in, on, to などをもそのまま <V+O+to+名・代> のように示した。<V+O+前+名・代> の「前」はいろいろな前置詞が用いられることを示す。

9.3 文の要素 (V, O, C) を明示しにくいときは, <V+前+名・代>, <V+to 不定詞> のように具体的な形だけを示した。

9.4 [主に受身で] などのように動詞型が一定しているときにはその動詞型は示さなかったが、その他の受身の場合は <V+O の受身> などと示した。

9.5 五文型で示せない動詞型については「語法」, [] を用いて示した。

9.6 動詞型の説明に準じて、重要な形容詞には形容詞型を、また重要な名詞には名詞型を示した。

9.7 重要語の基本構文間の相互関係を「書き換え」として示し、英作文などのヒントとした。

※**easy** /i:zi/ 形 ... 1 易しい。容易な: (人・ものが) ... しやすい...: ... ③ [書き換え] This book is ~ (for me) to read. <A+(for+名・代)+to 不定詞> = It is ~ (for me) to read this book. この本は(私には)読みやすい (11 B 1)...

10 成 句

10.1 原則として各品詞の語義・用例のあとに太字の活字を用いてまとめて示した。配列は単語を単位とするアルファベット順で示した。

10.2 成句にはすべてアクセントをつけて「話す英語」の面も重視した。

10.3 品詞名の略号に準じて成句の機能を [名], [形], [副], [動] のようにできるだけ示した (㊦ 3.1)。[動] はさらに ㊦ ㊦ の区別をした。

10.4 **one, one's, oneself** は主語に相当する代名詞が用いられることを表わす (㊦ one' ㊦ 3 語法 (4), one's' 語法 (2), oneself 2 語法 (2))。..., ...'s では主語と異なる名詞・代名詞が用いられることを表わす。...の他に前置詞の目的語などを示す場合は — を用いた (㊦ 5.11)。

make up one's mind ... (いろいろ考えた末に)決心する...: Liz has **made up her ~ to** be a doctor....

slip ...'s mind [動] ㊦ ...に忘れられる, 思い出せない: Her name has **slipped my ~**. 彼女の名前は今ちょっと思い出せない。

ただし ... や — はしばしば他の語 [句, 節] がそこに来ることをも示す。

(**just**) **in case** ... [接] ㊦ (1) 《米》もし...した場合は (if): **In ~ you find the man**, please let me know at once. もしその男を見つけたらすぐに私に知らせてください。

11 句動詞 (㊦ 卷末文法 句動詞)

11.1 動詞の成句と共に太字の活字を用いてまとめて示した。配列は単語を単位とするアルファベット順で示した。数が多いものは「...の句動詞」として囲みで示した。

11.2 囲みにまとめた句動詞は見出し語に準ずる扱いとし、重要なものは星印をつけた。

11.3 句動詞にはすべてアクセントをつけて「話す英語」の面も重視した。

11.4 見出し語とした句動詞の中で <他動詞+副> の型のうち、副詞の位置が目的語の前または後に固定しているものは動詞型を示した (㊦ 動詞型解説(卷末) III)。

11.5 受身が可能なものについてはその形を (受身 ...) として示したものもある。

12 派生語

12.1 派生関係を示す語は品詞の後(変化形の表示がある場合はその最後)に () で示した。

***health·y** /hé10i/ [形] (**health·i·er** /-0iə | -0iə/; **health·i·est** /-0i:st/; [名] health; [関] unhealthy)...

13 語源・単語の記憶

13.1 語の成り立ちが理解の助けになると思われるものは、[語源] として訳語・用例などの後に示した。語義の展開の囲みで示した場合もある。

E·den /i:dn/ [名] 1 ㊦ 《旧約》エデンの園... [語源] ヘブライ語で「喜び」の意。

***jet**¹ /dʒét/ [名] (jets /dʒéts/)

ラテン語で「投げる」の意 → (噴き出す) → 「噴出」 2
→ (噴射推進式飛行機) → 「ジェット機」 1

13.2 単語記憶の一助とするため、同じ語源を持ついくつかの語をその語源をキーワードとして一か所に集め、どのように現在の意味を持つにいたったかを [単語の記憶] として囲みで示した。

単語の記憶 《PORT》(運ぶ)

export	(外へ運び出す) → 輸出(する)
import	(中へ運び入れる) → 輸入(する)
report	(運び戻す) → 報告する
sport	(仕事から人を遠ざける) → スポーツ
support	(下から運び上げる) → 支える
transport	(他の場所に運ぶ) → 輸送(する)
portable	持ち運びできる
porter	運ぶ人

14 他所参照

14.1 見出し語を参照すれば便利なときは、《》を用いた。

***brake**¹ ...  (～s /-s/)  プレーキ 《 bicycle 挿絵》...

14.2 本辞典の姉妹編である『ルミナス和英辞典』にさらに参考になる説明が見られる場合は、「《和英》...」として示した。

14.3 類義語については  7.

14.4 反意語は (反) で示した 《 7, 12》.

15 表・挿絵、...のいろいろ、関連語

15.1 情報を 1 か所に集中させるため表・挿絵を採り入れた。写真も使用した。

15.2 重要な名詞の合成語を「...のいろいろ」という表にまとめて示した。

—case 1, 3 のいろいろ—
attaché case アタッシュケース, bookcase 本箱, brief-
case ブリーフケース, packing case (木製の)荷箱,
pillowcase まくらカバー

15.3 意味が関連し、組にして覚えると便利な語を関連語として囲みで示し訳語を与えた。語義・用例の後に **関連** として示した場合もある。

branch office   支店, 支局. **関連** head office 本店, 本局.

16 文法用語

16.1 巻末に文法用語解説を設け、本文中に《 巻末文法》と示して本文と巻末の解説との相互参照の完璧をめざし、辞書と文法書の合体をはかった。

17 地 図

17.1 この辞書で採録した米国・カナダ・英国・オーストラリア・ニュージーランドの地名については原則として見返しの地図を参照させてある。

***San Fran-cis-co** /sænfrænsiskou-/   1 サンフランシスコ 《米国 California 州中部の都市;  表地図 D4》...

18 この辞書で使用している略号と記号の用法

18.1 略号

 [名]	名詞	 [前]	前置詞	最	最上級
 固有名詞		 [感]	感嘆詞	三単現	三人称単数
代 [代]	代名詞	 接頭辞			現在形
動 [動]	動詞	 接尾辞		過去	過去形
 自動詞		 略語		過分	過去分詞
 他動詞				現分	現在分詞
助 [助]	助動詞	《米》	米国用法	動名	動名詞
形 [形]	形容詞	《英》	英国用法	複	複数形
副 [副]	副詞			単	単数形
接 [接]	接続詞	比	比較級	[複]	複数名詞

★ 動詞型・形容詞型・名詞型で示してある略号・略記については  動詞型・形容詞型・名詞型の解説 (巻末) I (2).

  については  5.8,   については  5.9,   については  5.10, 文体・用法上の指示については  6 と専門語表示一覧. (B.) (I.) (A.) については  8.4.   については  6.2.  については  2.13.

18.2 記号の特別な用法

() ... 省略 《 1.5, 2.7, 4.1, 5.7》.

() ... 用法上の指示 《 6.1, 6.2, 専門語表示一覧》, 説明 《 6.3》, 他所参照 《 14.1》.

[] ... 分野別専門語 《 専門語表示一覧, 6.3》.

/ / ... 発音 《 2.1》.

[] ... 言いかえ (☞ 1.5, 5.7), 語法上・文法・文体上の指示・注意 (☞ 5.6, 6.4).

なお英文で 2 語以上の語が置きかわる場合に限り, どの部分から置きかわるかを「」によって示した.

「put out [extinguish] a cigarette (put out a cigarette または extinguish a cigarette の意)

「**cóme to [réach] ...'s éar** (come to ...'s ear または reach ...'s ear の意)

< > ... 他動詞の目的語の表示 (☞ 5.11).

< > ... 文型表示 (☞ 9).

《 》 ... 外来語の原語表示 (☞ 2.13)

~, ~ ... 見出し語と同じつづり, または発音を表わす (☞ 1.3, 2.6, 4.1, 5.6, 8.1).

- ... 見出し語の一部が変わるときの変わらない部分を表わす (☞ 5.6).

☞ ... 反意語を表わす (☞ 7).

← ... 派生関係を示すときに用いてある.

-i-za-tion /ɪzərʃən | aɪz-/ 接尾 [名詞語尾] (動 -ize) 「...にすること, ...化」の意: nationalization 国有化 ← nationalize 国有化する.

← ... アクセントの移動を示す (☞ 2.9).

→, ↓ ... 語義の変遷を示す (☞ 13.1).

... 2 つ以上の発音のしかたがあるとき, そのどれかの発音 (☞ 2.10).

★ ... 注意すべき説明.

☞ ... 「参照せよ」の意. 下の例に見られるようにしばしば実際の記述が参照先にあることを示す. たとえば as の成句で

às for ... ☞ as for の項目.

とあれば, asfor というつづりの語を引く要領で見ると次の記述が見つかる.

***as for** /æz fɔ, æs- | -fə/ 前 [主に ⑤] [文頭で] ...に関する限りは, ...について
例えば: We have lots of bread, ...

★それぞれの発音記号については 2112 ページ以下の解説を参照.